

ヨロズグループの健康経営推進について

健康経営優良法人の認定取得

株式会社ヨロズは、健康経営優良法人 2025（大規模法人部門）に、ヨロズとして5年連続、ヨロズグループとして3年連続認定を受けております。



健康経営優良法人認定制度とは、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。ヨロズは、2019年10月に「株式会社ヨロズ 健康経営宣言」を行い、健康保険組合と連携をとりながら、従業員の健康増進に取り組んでおります。

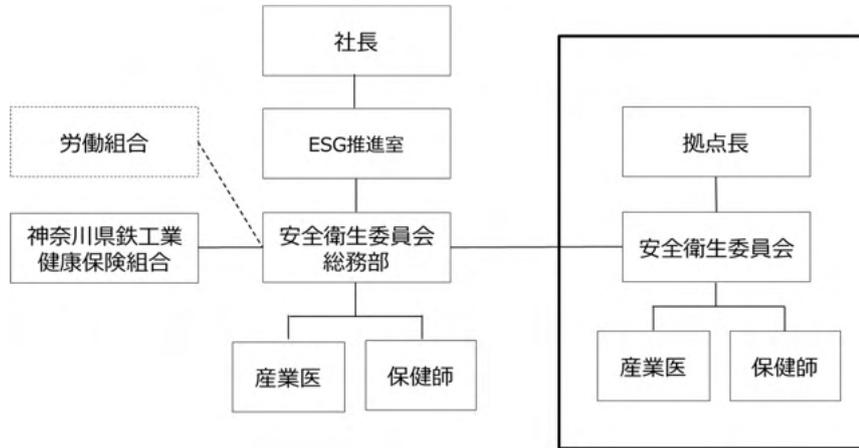
健康経営宣言

ヨロズグループは、「健康で働きがいのある職場」の実現を目指し、社員一人ひとりが笑顔で健康に働き続けることのできる会社づくりに努めることを宣言いたします。

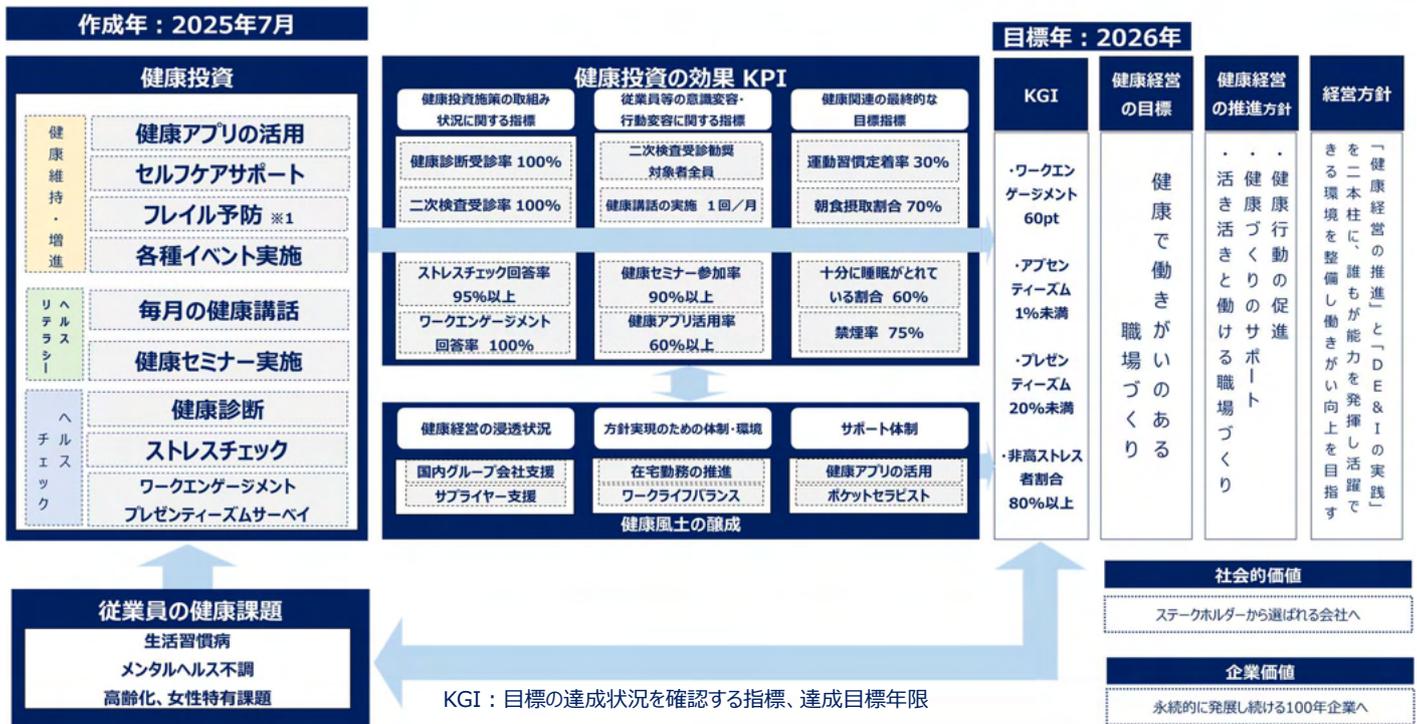
制定 2019年10月1日

推進体制

健康経営の責任者である社長の下、ESG推進室を軸に、安全衛生委員会を通じ産業医、保健師とともに健康管理を推進しています。また、安全衛生委員会では、毎月テーマを決めて安全と健康に関する情報を労使で協議しています。



戦略マップ



当社の主な取り組み

働きがい改革

KGI : ワークエンゲージメント 60pt

働きがいのある職場づくりへの取り組み

- ・労働時間の適正化
- ・年次有給休暇の促進
- ・在宅勤務の推進
- ・健康相談窓口の設置
- ・治療と仕事の両立支援体制の確立
- ・GLTD 制度の導入

エンゲージメント測定

	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2026 年度目標
ワークエンゲージメント	—	—	55.5pt	56.0pt	60.0pt
回答者数	—	—	480 人	455 人	—
回答率	—	—	96.0%	97.0%	100.0%

エンゲージメント測定：外部エンゲージメント調査にて測定

働き方に関するデータ

	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2026 年度目標
1on1 実施率	—	—	47.0%	63.0%	80.0%以上
男性育児休業取得率	71.4%	22.2%	51.7%	100.0%	80.0%以上
従業員離職率	6.5%	6.6%	5.2%	6.8%	—
在宅勤務率	34.1%	36.6%	29.8%	26.9%	毎年度 50.0%
有給休暇取得率	66.7%	72.5%	84.2%	86.8%	80.0%（一般職）
年間実労働時間	1831h	2046h	2088h	2123h	—

健康づくりのサポート・健康行動の促進

KPI

- ・運動習慣定着率 30%
- ・朝食摂取割合 70%
- ・十分な睡眠がとれている割合 60%
- ・禁煙率 75%

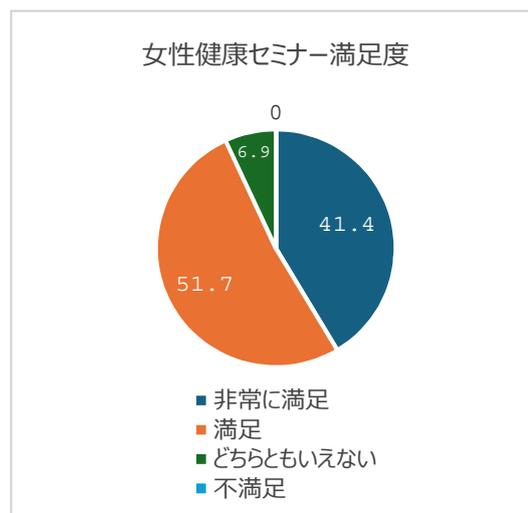
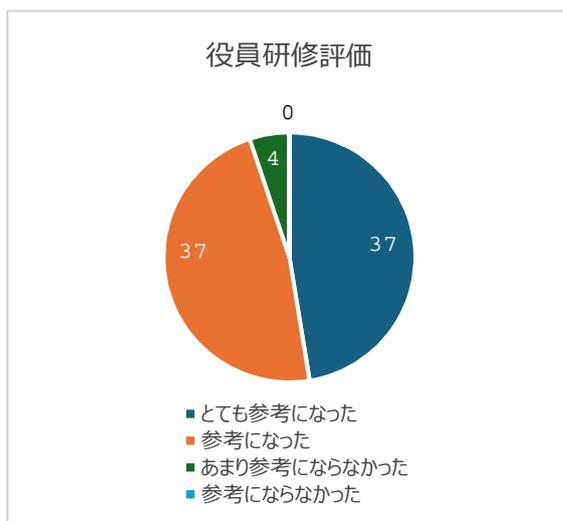
<健康意識の向上>

健康に関する知識を身につけるためセミナーを開催、毎月の安全衛生委員会にて産業医、保健師による健康講話を行っています。また、健康意識の向上を目指し、食事や運動への取り組みにつながるようさまざまなイベントを実施しています。

各種セミナー参加率

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
女性健康セミナー（対象：女性）	92.6%	76.8%	73.8%	—
女性健康セミナー（対象：管理職）	—	29.0%	56.2%	—
女性健康セミナー（全員対象）	—	—	—	12.7%
管理職教育	76.8%	65.5%	72.8%	75.7%
新入社員教育	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

各種セミナー評価、満足度



健康イベントの実施

測定イベント

定期健康診断時に「野菜摂取量測定」「血管年齢測定」「握力測定」「俊敏性測定」を実施しました。参加者からは、「もう少し野菜をとろうと思った。」「運動して血行を良くしたい。」などの声があり、健康に関する意識の高まりがみられました。測定後は、数値についてコミュニケーションが活発に行われていました。



参加率：30.6%

AI 姿勢健診

写真をとるだけで身体のゆがみを測定し、将来の姿勢予測を行う AI 姿勢健診を実施しました。将来の姿勢予測ができるため、高齢者にみられるフレイル予防にも役立ちます。参加者は、筋力トレーニングやストレッチの重要性を再確認することができました。翌日結果がスマートフォンに表示されると、参加者同士で結果を見比べ会話がはずみました。

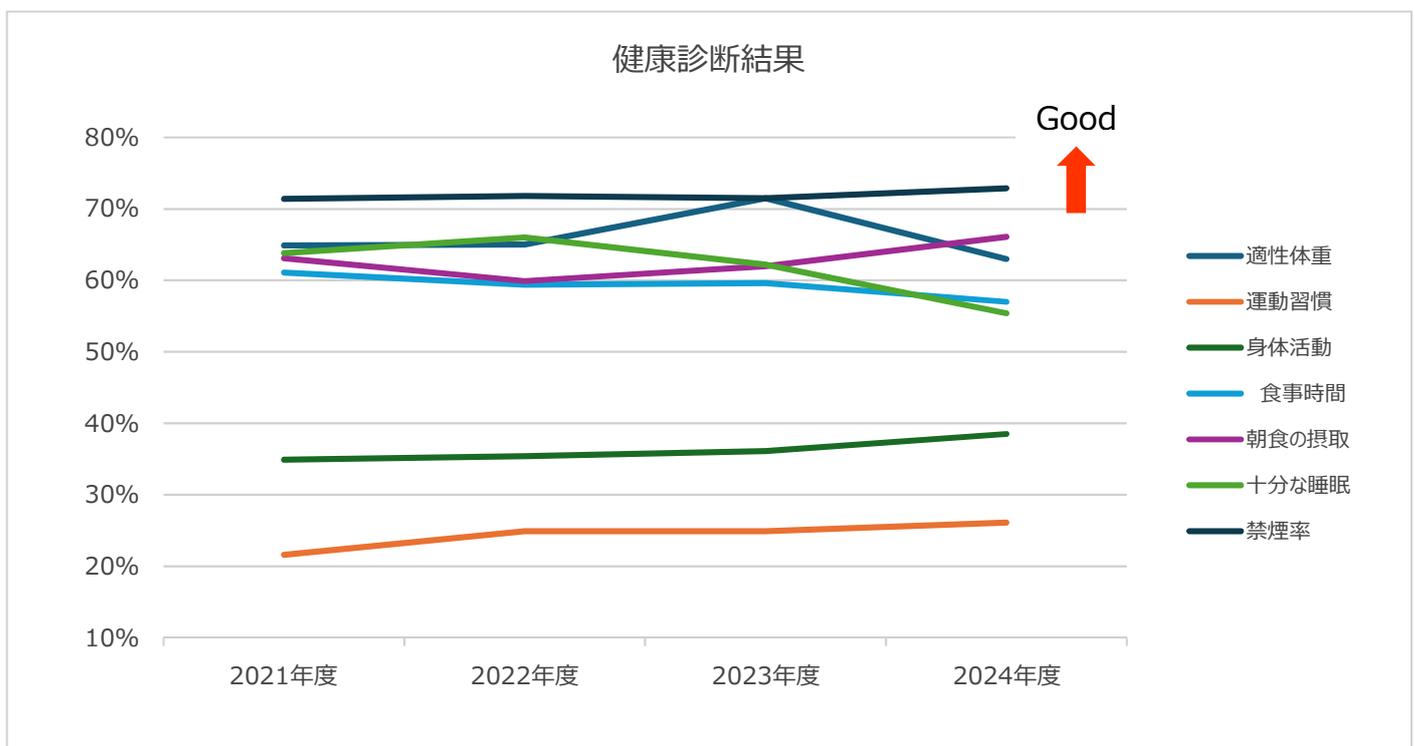


参加率：9.1%

<生活習慣病予防、早期発見・早期治療>

内臓脂肪型肥満をベースに高血糖、高血圧、脂質異常が複数重なることにより、動脈硬化を進行させるメタボリックシンドロームは、心臓病や脳卒中などの生活習慣病のリスクを高めます。生活習慣病は生活習慣を見直すことで改善が期待できます。当社では食事や運動、睡眠、禁煙についての取り組みや保健指導の実施、早期発見・早期治療のための受診勧奨を実施しています。

健康診断結果の年次推移



適性体重：適性体重を維持している割合

運動習慣：1回30分以上の軽く汗が出る運動を週2日以上かつ1年以上実施している割合

身体活動：日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施している割合

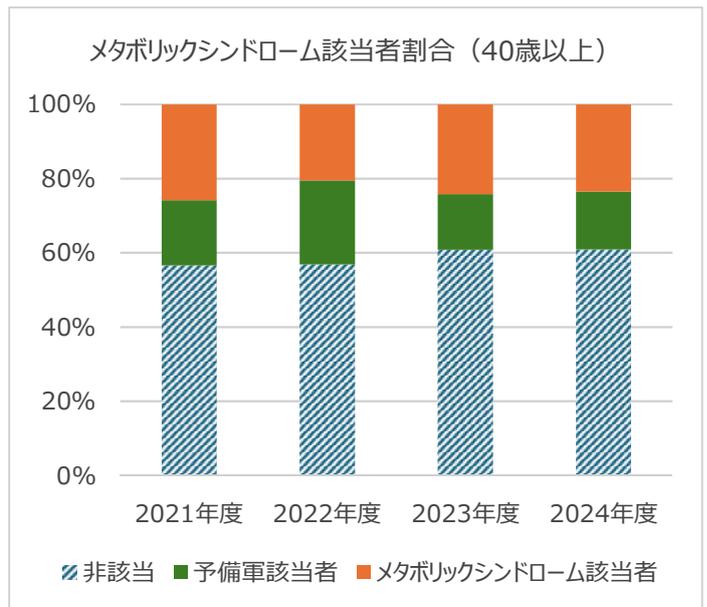
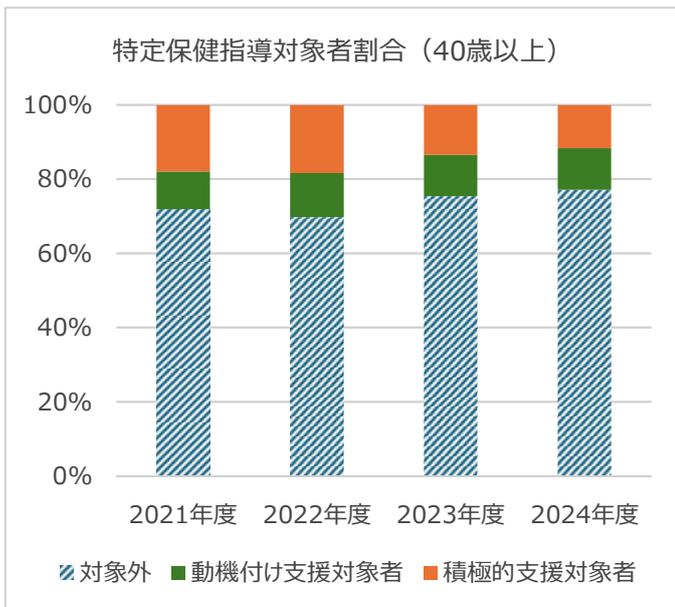
食事時間：就寝前の2時間以内に夕食を摂ることが週に2回以下である割合

朝食の摂取：朝食は毎日摂っている、もしくは朝食を抜くことは週に2回以下である割合

十分な睡眠：睡眠で、休養が十分に取れている割合

禁煙率：たばこを吸っていない割合

特定保健指導対象者割合・メタボリックシンドローム該当者割合（40歳以上）



運動習慣定着・身体活動量向上への取り組み

2026年度目標値：運動習慣定着率 30%

チーム対抗ウォーキング大会の実施

運動習慣の定着、身体活動量向上のきっかけづくりになるよう、健康アプリを使用し、オンラインにてチーム対抗ウォーキング大会を実施しました。チーム対抗戦にすることで、歩数が増加するだけでなく、チーム内でのコミュニケーションも増加しました。また、歩数の増加を目指しチーム内で自主的にウォーキングイベントを企画するチームもありました。今後も運動習慣の定着・身体活動向上への取り組みを実施し数値の改善を目指していきます。



参加率：23.5%

健康保険組合主催のウォーキングイベントに参加（横浜本社）

健康保険組合主催のウォーキングイベント「100キロウォーク」に参加しています。毎年1年に2回企画しており、1回に歩く距離は8~9kmです。このイベントは歩くだけでなく、普段あまり会話をしない他部署の方とのコミュニケーションをとることができ、楽しく健康づくりができています。



食生活改善への取り組み

2026 年度目標値：朝食摂取割合 70%

健康アプリを使用した健康行動の促進

当社は、自動販売機と連動している、健康アプリ（サントリープラス）を導入しています。このアプリは、食事や運動に関する手軽にできそうな健康行動を自分で選択でき健康行動を実施するとポイントがもらえます。ポイントがたまると健康飲料に引き換えることができます。楽しみながらゲーム感覚で健康行動を継続できます。



アプリ登録率：68.0%

睡眠状態改善への取り組み

2026 年度目標値：十分な睡眠がとれている割合 60%

医療従事者に直接相談できるサービスの導入

当社では、「ポケットセラピスト」を導入しています。ポケットセラピストは医療従事者との面談を通じて不調原因を明確化し、改善のためのプログラムを提供します。十分な睡眠がとれていない原因はさまざまであるため、一人一人に適した支援を行うことができます。



禁煙率増加のための取り組み

2026 年度目標値：禁煙率 75%

ヨロズ禁煙 Day の実施、健康保険組合によるオンライン禁煙外来の実施

世界禁煙デーに合わせ、5月31日をヨロズ禁煙 Day とし、禁煙を促す取り組みを行いました。また、健康保険組合では、オンライン禁煙外来を実施しており、禁煙したいときに通院することなく気軽に受診できる体制を整えています。



参加率：15.5%

健康診断受診率と二次検査受診率

	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2026 年度目標
定期健康診断受診率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
二次検査受診率	42.5%	36.4%	71.2%	96.6%	100.0%

定期健康診断受診率：長期欠勤者等除く

二次検査受診率：二次検査受診人数／二次検査該当者数

高リスク者率

高リスクの方に対しては、全員に保健師面談を実施し、通院・服薬状況、生活習慣を聴取し、改善につながるようサポートしています。

	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2026 年度目標
血糖リスク者	0.9%	0.5%	0.5%	1.1%	1.0%未満
血圧リスク者	0.3%	0.5%	0.3%	0.8%	0.5%未満
糖尿病管理不良者	0.6%	1.2%	1.0%	1.3%	1.0%未満
治療継続率	66.7%	60.0%	75.0%	60.0%	100.0%

血糖リスク者：空腹時血糖が 200mg/dl 以上の人の割合

血圧リスク者：収縮期血圧 180 mmHg 以上または拡張期血圧 110 mmHg 以上の人の割合

糖尿病管理不良者：HbA1c が 8.0%以上の人の割合

治療継続率：糖尿病管理不良者のうち治療を継続している割合

生き活きと働ける職場づくり

KGI：アブゼンティーズムの低下（メンタルヘルスによる休職者率 1%未満）

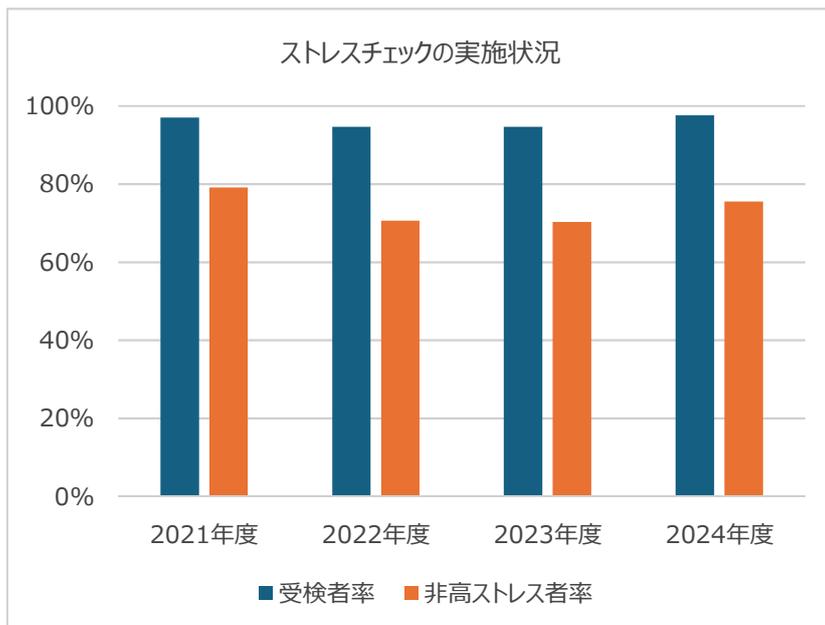
プレゼンティーズムの低下（SPQ 東大 1 項目版：20%未満）

非高ストレス者割合の増加（80%以上）

メンタルヘルス対策

メンタルヘルス不調を未然に防ぐため、年 1 回ストレスチェックを実施し、ストレスへの気づきを促しセルフケアにつながるよう支援しています。また、必要な時はいつでも相談できるよう、産業医・保健師面談を受けられる体制を整備しています。ストレスチェック後は、集団分析を実施し、管理職向けメンタルヘルスセミナーを実施しています。

ストレスチェック実施状況



ストレスチェック：「職業性ストレス簡易調査票（57項目版）」にて実施

アブセンティーズム測定

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2026年度目標
メンタルヘルスによる休職者率	0.7%	0.7%	1.1%	2.2%	1.0%未満
対象従業員数	444人	431人	464人	412人	—

メンタルヘルスによる休職者率：従業員数に対するメンタルヘルス疾患による休職者の割合

プレゼンティーズム測定

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2026年度目標
SPQ（東大1項目版）	—	—	20.0%	20.2%	20.0%未満
回答者数	—	—	480人	455人	—
回答率	—	—	96.0%	97.0%	100.0%

プレゼンティーズム測定：SPQ（東大1項目版）にて測定

プレゼンティーズム改善施策

プレゼンティーズムを改善するため、ポケットセラピストを導入しています。ポケットセラピストは登録するだけで、医療従事者との面談、ストレッチなどのセルフケア・健康動画を見ることができ、オンラインにて医療従事者へ悩みごとの相談もできます。ポケットセラピストを利用することでセルフケア行動を行い、生産性の向上を目指すことを目的としています。

